

## 令和6年度進行管理・評価シート

令和6年度進行管理・評価シート  
宇治市歴史的風致維持向上計画(第2期)(令和5年3月27日認定)

### □進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 宇治市歴史的風致維持向上協議会の開催	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 道路整備事業	2
2 道路の美装化	3
3 景観形成助成制度の啓発	4
4 建物修景への支援	5
5 景観に配慮した取組み	6
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 重要文化的景観の保存	7
2 観光案内サイン等の整備	8
3 「お茶と宇治のまち歴史公園」を活用した情報発信	9
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 宇治茶園への支援	10
2 宇治茶品質向上への取組み	11
3 宇治茶普及啓発	12
4 宇治茶によるおもてなしの推進	13
5 歴史資料館 常設展及び企画展示の実施	14
6 源氏物語ミュージアム企画展示の実施及び講座等の開催	15
7 市営茶室対鳳庵の活用	16
8 宇治茶巡りガイドツアー	17
9 宇治川の鶺鴒・放ち鶺鴒の助成	18
10 宇治十帖スタンプラリーの開催	19
11 社寺等の歴史資源との連携	20
12 歴史文化への愛着の醸成	21
13 歴史・文化啓発	22
14 文化財見学会	23
15 文化財保存・修理・整備等への補助	24
16 未指定文化財等への調査	25
17 無形民俗文化財等への記録調査	26
18 文化財の保存・活用の検討	27
19 天ヶ瀬ダム周辺のかわまちづくり	28
20 空き町家の活用の検討	29
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 宇治市お茶摘みバンク成果	30
2 息が合う 鶺鴒匠&ウッティー 放ち鶺鴒茶づなで見学を	31
3 宇治のまち厄祓いで疾走 県神社の大幣神事	32
4 宇治市が碾茶で産地賞	33
5 登録無形文化財に手もみ製茶	34
6 萬福寺3棟、国宝に格上げ	35
7 宇治市源氏物語ミュージアム 昨年23万1100人、入館最多	36

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2) ..... 37

評価軸①-1  
組織体制

	評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況	

宇治市歴史的風致維持向上協議会の開催	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
--------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------

計画に記載している内容 計画の進捗管理や計画の変更・追加について、関係課から庁内意見を調整し、「宇治市歴史的風致維持向上協議会」に意見を伺うこととする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

学識経験者、文化財所有者、各種関係団体及び行政関係者により構成される宇治市歴史的風致維持向上協議会を開催し、計画の進行管理・評価について、意見を聞くことができた。

【定量的評価】

宇治市歴史的風致維持向上協議会の開催回数 : 1回

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	
------------------------------------------------------------------------------------------	--

状況を示す写真や資料等

宇治市歴史的風致維持向上協議会の開催状況

実施期間	種別	検討事項等
令和6年5月28日	第1回 歴史的風致維持向上協議会	【内容】 1. 報告 (1)歴史的風致維持向上計画の軽微な変更について 2. 議事 (1)歴史的風致維持向上計画の令和5年度の進捗評価について (2)歴史的風致維持向上計画の令和6年度事業について

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	令和6年度 現在の状況
道路整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	交通環境の改善により周遊しやすい道路を整備することで、人々多くの歴史的風致に触れる機会を創出することができ、また市民の安全が確保されることにより住環境の向上が期待される。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和6年度は、菟道志津川線(門前工区)で一部区間の用地取得を行い、暫定拡幅工事を行った。宇治五ヶ庄線では、関係機関や地権者等との調整を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

市道菟道志津川線(門前工区)



現況 (令和7年3月)

市道宇治五ヶ庄線



現況 (令和7年3月)

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況	

道路の美装化

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容  
 道路を美装化し道路景観の改善を行うことにより、巡行する伝統的祭礼との調和が図られ、人々の周遊性を高めるとともに歴史的風致を感じられる環境を整える。また、良好な市街地を形成し、市民の住環境の改善にもつながる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和6年度は、京都府道宇治淀線無電柱化に向け、南側歩道に電線共同溝の埋設工事を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

府道宇治淀線



現況 (令和7年3月)

評価軸②-3  
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和6年度
		現在の状況

景観形成助成制度の啓発

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容 「宇治市景観計画」においては、「悠久の歴史と自然を今に活かしふるさと宇治を誇り伝えん」とした基本理念のもと、市内全域を景観計画区域とし、17に区分されたそれぞれの区域ごとに景観形成誘導指針及び屋外広告物に関する行為の制限を示している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本市は、宇治市景観計画重点区域内において、良好な景観の形成に著しく寄与する建築物や屋外広告物の整備に対して助成を行うこととしている。景観重要公共施設の沿道の助成対象区域において景観形成助成制度の啓発チラシにより、制度の周知をすすめた。また、屋外広告物助成事業については、市の広報紙「市政だより」による周知も行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

# 景観のお知らせ



当該地区は、宇治市景観計画重点区域に含まれ、特に景観に配慮を要する地域です。つきましては、良好な景観形成を目指して下記のような取組をしておりますので、ご協力をお願いします。

## 1. 景観形成助成制度が利用できます。

建築物、工作物(門・柵など)、屋外広告物の新設・改修工事や設備維持の目隠しなど、良好な景観の形成に著しく寄与すると認められる場合、申請の範囲内において経費の一部を助成します。詳細については、歴史まちづくり推進課窓口またはホームページにてご確認ください。

助成対象区域 (裏面、景観形成助成対象区域図参照)	建築物、工作物(門・柵など)	宇治市景観計画重点区域内の表示路線沿道
	屋外広告物	宇治市景観計画重点区域内
受付場所	宇治市役所歴史まちづくり推進課景観係(6階)	
受付期間	令和6年8月18日から令和6年12月6日まで(土・日・祝日を除く)。ただし、令和7年8月上旬までに工事が完了することが確実なものについては、受付期間を過ぎても受付を行う場合があります。	
受付時間	午前8時30分から午後5時15分まで(正午から午後1時までを除く)。	
その他	申請時には、景観形成助成金交付申請書とともに関係書類を揃えて提出してください。(関係書類については、裏面をご覧ください)	

※宇治市ホームページ・宇治市アップページ>暮らしの情報>エコナビ>宇治市の景観>景観形成助成制度

## 2. 建物の色の塗り替えでも届出が必要です。

建物の新築・増改築や工作物の新設・増設はもちろん、たとえ同じ色への外壁の塗り替えであっても、軽微なもの以外は、事前に届出・届出が必要です。また、外壁や屋根などに使用できる色には基準があり、マンセル値という数値で色の基準を定めています。

※行為に係る部分の面積が㎡以下かつ床面積・行為面積の㎡以下

## 3. 屋外広告物(看板等)にもルールがあります。

屋外広告物(看板等)を掲出するには事前に許可が必要です。また、市内全域で屋外広告物の大きさ・色について基準があります。色については、マンセル値による基準を定めています。

上記以外にも、建築物等の外観を変更する行為を計画される際には、事前に歴史まちづくり推進課建築係までご相談ください。基準から外れたものが出来た場合、基準に合ったものに変更していただくことがあります。



宇治市のホームページにも詳しく掲載しています。

宇治市ホームページ・宇治市アップページ>暮らしの情報>エコナビ>宇治市の景観 または 屋外広告物

連絡先 宇治市役所 歴史まちづくり推進課 景観係(本庁舎6階) 電話0774-20-8918(直通) 22-3141(代電)

### 助成対象区域で配布した啓発チラシ

屋外広告物を改善しまちなみを演出しませんか？

屋外広告物について、デザイン、色彩、材料等を周囲に調和するように整え、地域のまちなみをより良くする工事を対象に助成します。

〈対象工事〉屋外広告物の設置、除却等に係る経費及び設計費等で、著しく景観に寄与するもの(年度内に完了し、年度内に検査を受けられる場合に限る) 〔対象区域〕景観計画重点区域 〔交付額〕工事費の2分の1以下(限度額50万円) 〔補助件数〕予算額に達するまで(先着順) 〔申請書〕を、12月6日(金) (延長の可能性有り)までに、歴史まちづくり推進課窓口へ。

### 市政だよりによる記事

評価軸②-4

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況

建物修景への支援

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容 茶業に関する家屋や伝統的な街や建築、近代期の商業店舗などが混在し、歴史の重層性や伝統的な茶業を感じさせる商店街等の建物に対して修景助成を行うことにより、歴史ある沿道景観の保全と形成を促進し、賑わいあるまちづくりが推進される。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本市は、特に景観に配慮すべき宇治市景観計画重点区域内の景観重要公共施設(道路)の一部沿道において、良好な景観の形成に著しく寄与すると認められる建築物、工作物、その他(設計費等)について、助成を行うこととしており、令和6年度の申請は1件である。なお、令和6年度より空き家の利活用に資する場合には、加算して助成を行うよう制度拡充を行った。

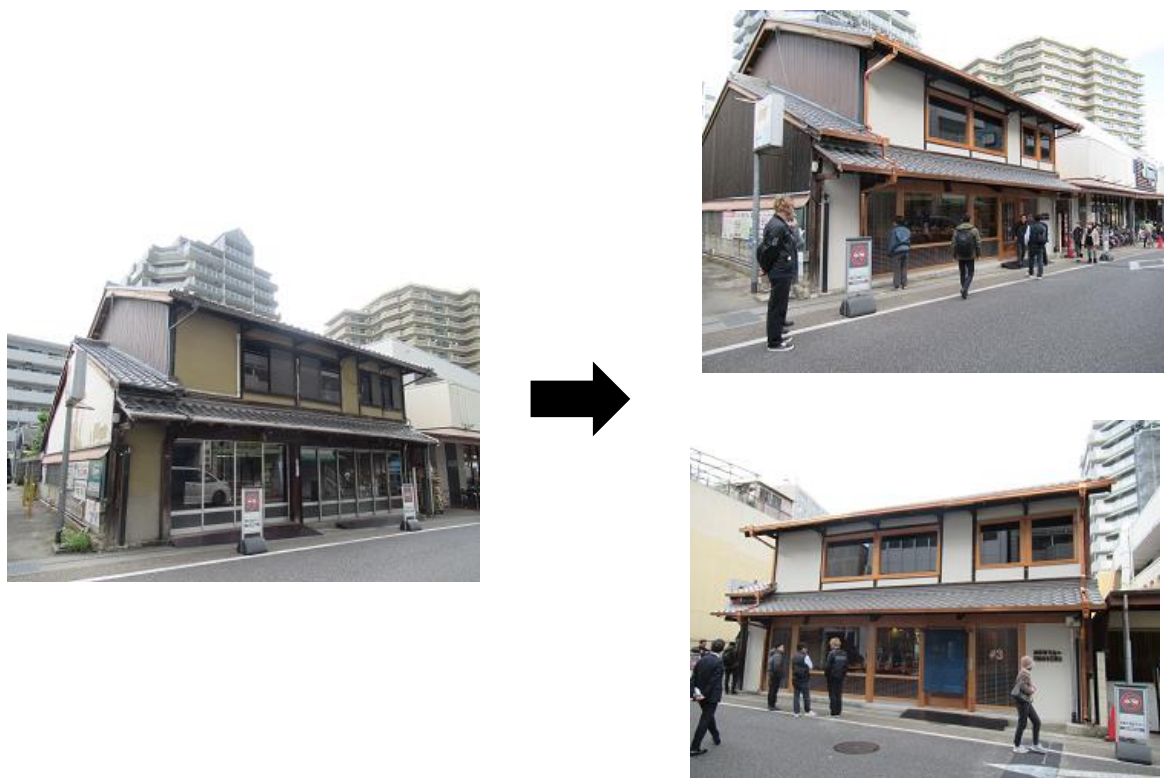
【定量的評価】

景観形成助成の件数 : 申請件数 1件  
 (参考)令和5年度 : 申請件数 0件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



令和6年度実績

評価軸②-5

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和6年度 現在の状況
----	--------	----------------

景観に配慮した取組み

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載  
している内容

景観阻害要因の減少とともに、歴史的な町並みと調和した賑わいと風情あるまちづくりが推進される。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本市は、宇治市景観計画重点区域内において、良好な景観の形成に著しく寄与する屋外広告物の整備に対して助成を行うこととしているが、令和6年度の申請は1件である。

【定量的評価】

景観形成助成の件数 : 申請件数 1件  
(参考)令和5年度 : 申請件数 0件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



令和6年度実績

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度 現在の状況
重要文化的景観の保存		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成25年度～令和14年度
支援事業名	文化的景観保護推進事業国庫補助
計画に記載している内容	重要構成要素の修理事業を実施し、積極的な活用を図ることにより、賑わいのある沿道景観の魅力向上や伝統的な茶業の継承に寄与する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

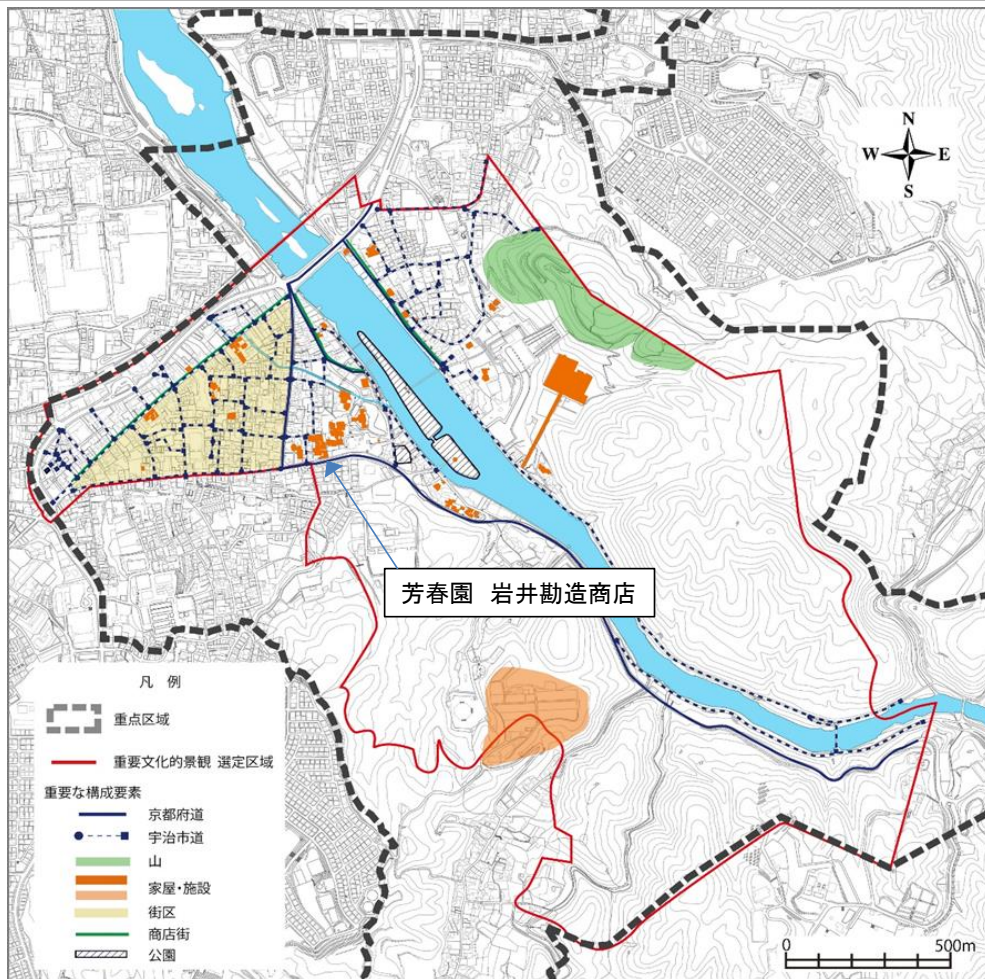
令和6年度は、重要文化的景観「宇治の文化的景観」の景観重要構成要素の建物修理を1件行った。  
 ・芳春園岩井勘造商店

【定量的評価】

景観重要構成要素の届出建物修理修景事業の実施件数：1件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	選定地区拡大の取組を進める必要がある。修理事業は所有者の状況により取組に差がある。引き続き重要構成要素の修理を実施し、宇治の文化的景観の継承に努める。

状況を示す写真や資料等



宇治の文化的景観 修理箇所位置図

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
観光案内サイン等の整備		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成29年度～令和14年度		
支援事業名	観光振興事業費補助金		
計画に記載している内容	宇治市観光振興計画に基づき、国内外からの観光客が歴史・文化資源や歴史的町並み等を回遊しやすい環境を整備するため、わかりやすい観光サインや観光トイレの再整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
宇治市観光案内サイン整備ガイドラインに基づき、令和6年度は小倉地域において新設5基、JR宇治駅自由通路内に新設3基の対応を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		補助事業に基づく財政措置を行っており、国・府補助金の動向により整備の進捗に影響がある。	

状況を示す写真や資料等



小倉地域新設5基(令和6年6月)



JR宇治駅自由通路内新設3基(令和7年3月)

評価軸③-3 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和6年度
--	--------	-------

項目	現在の状況
「お茶と宇治のまち歴史公園」を活用した情報発信	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和14年度

支援事業名 観光振興事業費補助金

計画に記載している内容 「お茶地宇治のまち歴史公園」の施設を運営するとともに、「宇治のまち・人・歴史・文化をつなぐプラットフォーム」としてミュージアムでの学び舎、茶摘みや抹茶づくり等様々な体験プログラムやイベントの開催などソフト事業やSNS等を活用した情報発信によりお茶と宇治の歴史と魅力の周知を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

SNS等を活用し、国内、海外に向けて情報発信を行うとともに、令和6年度は大河ドラマ展の開催、インバウンドの来訪者の増加などにより、周知が広まった。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	「お茶と宇治のまち歴史公園」への誘客が課題であるが、引き続き、利用者の増加を目指す
------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------

状況を示す写真や資料等

X:フォロワー 1,661



Instagram: フォロワー 3,592



TikTok: フォロワー 126



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況	
宇治茶園への支援	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 減少傾向にある宇治市域の茶園の維持・拡大を進めることや、伝統的栽培方法を推奨することで、生産者の経済的負担軽減と活動意欲を支える。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

高品質な宇治茶の生産を促進する事業として、宇治茶の伝統的製法である「ほんず」による生産を支援する「伝統技術継承対策事業」を行うとともに、茶摘み時期に必要な「お茶摘みさん」の斡旋を支援する「手摘み茶推進対策事業」を行い、宇治独特の茶園景観の形成に寄与した。

【定量的評価】

伝統技術継承対策事業の実施件数 : 12件(229. 6a)  
 「ほんず」による生産は非常に手間暇がかかり、生産省力化につながる寒冷紗による生産に移行する状況の中、実施件数は令和元年度15件(247. 2a)、令和2年17件(274. 3a)、令和3年14件(244. 6a)、令和4年度12件(190a)、令和5年度15件(221. 8a)はと推移している。本事業による実施面積は、年度ごとの申請内容により増減があるものの、実施件数は近年横ばいで推移しており、ほんず栽培の保存や技術継承に効果を発揮していると評価できる。  
 手摘み茶推進対策事業の実施件数 : 29件  
 手摘みを継続していくためにはお茶摘みさんの確保が必須であるが確保するのが厳しくなっており、平成27年度以降実施件数が30件程度で推移しており、手摘みを継承していきたい茶農家の支えとなっており、手摘み茶の推進の効果を発揮していると評価できる。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



伝統技術継承対策事業により支援を実施。「ほんず」と呼ばれる覆下茶園の栽培状況

手摘み茶推進対策事業により実施された「お茶摘みさん」募集広告  
 洛タイ新報(令和6年4月13日土曜日)

## 評価軸④-2

## 文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度
宇治茶品質向上への取組み		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 品質向上への意欲増進や栽培・生産技術の向上が図られる。また担い手育成や生産力及び販路の拡大に取り組む茶農家を支援し、宇治茶のブランド力を強化する。

## 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

6月13日に宇治市で開催された第57回宇治市茶品評会、7月31日から愛知県で開催された第76回関西茶品評会(式典は11月16日)、8月27日から静岡県で開催された第78回全国茶品評会(式典は11月2日)への出品を支援した。茶品評会への出品を推奨することで、生産者の生産意欲を高め、宇治茶の伝統的製法の継承につなげることができた。

## 【定量的評価】

茶品評会入賞数/出品数 : 56点受賞/117点

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

## 状況を示す写真や資料等



全国お茶まつり静岡大会  
褒賞授与式  
(令和6年11月2日)

## 品評会の実施状況

	第78回全国 茶品評会	第76回関西 茶品評会	第57回宇治市 茶品評会
出品数	47	45	25
優等数	/		2
1等賞	5	-	3
2等賞	8	10	4
3等賞	12	8	4
農林水産大臣賞	受賞	-	/
産地賞	受賞	-	/

※相当含む

	評価対象年度	令和6年度
--	--------	-------

項目	現在の状況
宇治茶普及啓発	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 市民や来訪者が宇治茶に親しみ、宇治茶を理解することは、お茶のまち宇治の歴史的風致の維持向上に寄与する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

例年通り、以下のイベントを開催

【定量的評価】

「市民茶摘みのつどい」の参加者数 : 5月12日(日曜日)開催 200名  
 「宇治茶まつり」の参加者数 : 10月6日(日曜日)開催 15,000名  
 「市民素人茶香服大会」の参加者数 : 10月6日(日曜日) 54名

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



宇治茶まつり(名水汲み上げの儀)



宇治茶まつり(茶壺口切の儀)



市民茶摘みのつどい



市民素人茶香服大会

評価軸④-4  
文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和6年度
--	--------	-------

項目	現在の状況
宇治茶によるおもてなしの推進	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 「宇治茶の普及とおもてなしの心の醸成に関する条例」に基づき、宇治茶の振る舞いなどにより、おもてなしの心の醸成を促進するための取組みを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

各種イベントにて、市内産宇治茶の振る舞いを実施した。

7月 6日・7日 京都大作戦	10月24日 京都南座観光プロモーション
9月 4日 名古屋観光プロモーション	11月 2日 全国お茶まつり静岡大会
9月22日 サンガホームタウンデー	11月28日 関空観光プロモーション
10月12日 万博半年前機運醸成イベント	他、計20イベントにて振る舞い実施

進捗状況 ※計画年次との対応

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------

状況を示す写真や資料等



京都大作戦



万博半年前機運醸成イベント

項目	評価対象年度	令和6年度 現在の状況
歴史資料館 常設展及び企画展示の実施		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 常設展や企画展では、市域の各地に残った古文書や民具、そして写真などを通して、宇治市の歴史、文化について紹介し、市民をはじめとする来訪者に宇治の歴史的風致に関する認知を高めてもらう。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本市の歴史に関する多様なテーマについて、開館以来収集してきた資料を中心に、実物資料、写真パネル、映像資料を組み合わせ、市民が親しみやすい常設展及び企画展を実施した。令和6年度は、普茶料理に欠かせない「黄檗名物・豆腐羹」の製造用具や製法を中心に紹介した企画展「黄檗山萬福寺—普茶料理・豆腐羹—」や歴史まちづくり推進課と共催して、二子山古墳などの発掘資料を紹介した企画展「発掘ものがたり宇治・2025」を開催したほか、宇治茶の歴史を紹介する「宇治茶 名所絵から製茶図まで」などの全5回の企画展を開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	常設展や企画展を通して、市民が継続的に歴史資料に親しみ、その重要性を知る機会を提供し、宇治の歴史や文化について理解を深めることができるよう、今後も工夫を凝らした展示を実施

状況を示す写真や資料等



常設展



企画展「黄檗山萬福寺—普茶料理・豆腐羹—」

項目	評価対象年度	令和6年度 現在の状況
源氏物語ミュージアム企画展示の実施及び講座等の開催		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 『源氏物語』『宇治十帖』の主な舞台となった宇治について、多くの市民をはじめとする来訪者に紹介することは、宇治市の歴史、文化の魅力をより深く認知してもらうことにつながる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

企画展示では、様々な視点から趣向を凝らし、源氏物語及び平安時代の文化を紹介した。令和6年度は、「紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクト」の一環として特別企画展『源氏物語』が呼んでいる―拡がる古典の世界―を開催したほか、4回の企画展を開催した。  
講座では、外部講師による連続講座や源氏物語セミナーのほか、館長が講師を務める入門講座や「源氏寄席―笑う門にはフグ来る―」など、最新の研究成果を織り交ぜた講演や親しみやすい内容によって、より深く学べる場と古典に親しむ機会を提供した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

宇治市の歴史、文化に対するさらなる市民意識の向上

状況を示す写真や資料等



入門講座



特別企画展『源氏物語』が呼んでいる―拡がる古典の世界―

評価軸④-7

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況	
市営茶室対鳳庵の活用	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 茶文化を体験できる機会を提供することは、市民や来訪者に宇治茶の品質や、茶業全般への関心や理解を促すことにつながる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本格的数寄屋建築の市営茶室「対鳳庵」において、表千家流・裏千家流・山荘流の3流派による抹茶や、二條流、瑞芳菴流、方円流の3流派による煎茶の本格的なお点前の披露により、茶文化を体験できる機会を創出し、茶業への関心や理解を促す場を提供することができた。

なお、平成26年4月から従来の「抹茶の薄茶」、「煎茶」のみだったメニューに「濃茶と薄茶」、「玉露と煎茶」のセットメニュー及び「お点前体験」のメニューを追加することにより、利用者の増加や満足度を高める取り組みを行っている。

また、正門、待合、植栽等の改修工事を行い、令和2年7月1日にリニューアルオープンした。

【定量的評価】

令和6年度の市営茶室でお茶席の利用者数 : 20,940人

(参考)令和5年度 : 14,568人

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

外国人を含め観光客が増えてきており、入席者数に占める割合が7割を超える。今後も引き続き、近隣の方も含めた利用者の増加を目指す。

状況を示す写真や資料等



茶の湯の用意ができていることを知らせる“在釜”の札をかかげる市営茶室対鳳庵の露地門



お点前体験の様子

対鳳庵	入席者数	うち外国人
平成24年度	16,302人	4,889人
平成25年度	14,259人	4,259人
平成26年度	22,335人	6,059人
平成27年度	21,638人	7,198人
平成28年度	21,329人	8,442人
平成29年度	24,792人	11,803人
平成30年度	23,354人	11,858人
令和元年度	18,782人	10,930人
令和2年度	1,908人	58人
令和3年度	2,144人	63人
令和4年度	6,077人	1,316人
令和5年度	14,568人	9,218人
令和6年度	20,940人	15,527人

対鳳庵体験予約	濃・薄セット	玉露	玉・煎セット	お点前体験
平成26年度	248人	2人	2人	345人
平成27年度	118人	20人	5人	885人
平成28年度	181人	9人	6人	913人
平成29年度	134人	9人	0人	1,026人
平成30年度	106人	22人	27人	954人
令和元年度	143人	23人	7人	1,191人
令和2年度	15人	13人	0人	52人
令和3年度	14人	13人	1人	59人
令和4年度	53人	58人	5人	273人
令和5年度	91人	137人	9人	1,608人
令和6年度	0人	278人	7人	3,927人

評価軸④-8

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度 現在の状況
宇治茶巡りガイドツアー		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和6年度～令和14年度

支援事業名 観光振興事業費補助金

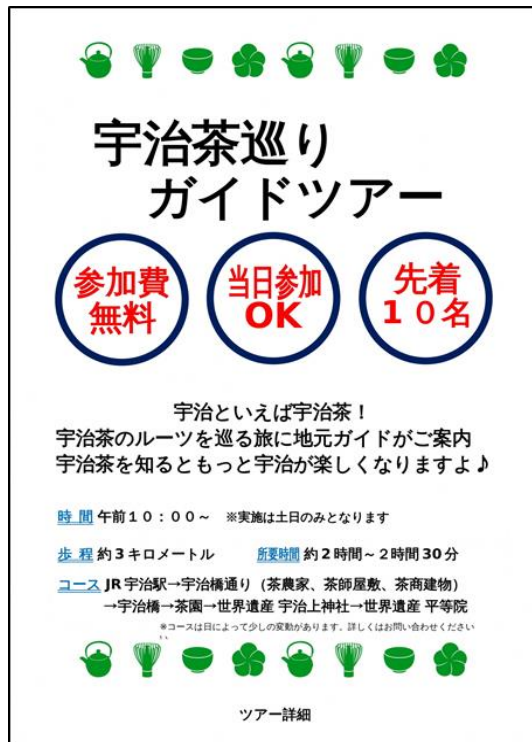
計画に記載している内容 観光客に宇治茶への興味を持ってもらい、より多くの宇治の魅力を感じてもらうために、宇治観光ボランティアガイドクラブの案内による宇治茶関連施設の無料ツアーを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【宇治茶巡りガイドツアー】  
 ◎ツアー開催回数: 74回  
 ◎ツアー参加者数: 182人  
 【宇治川合戦絵巻ガイドツアー】  
 ◎ツアー開催回数: 44回  
 ◎ツアー参加者数: 63人

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	宇治茶を活かした観光振興の取組として、宇治茶に関する情報提供及び施設見学を行うことにより、宇治茶のブランド力の強化と宇治の魅力発信に努めることができた。また宇治川合戦絵巻ガイドツアーにおいても、宇治の歴史を発信することができた。今後も宇治の魅力を伝える取組として、より効果的な手法を検討する。

状況を示す写真や資料等



参加費 無料

当日参加 OK

先着 10名

宇治といえば宇治茶！  
 宇治茶のルーツを巡る旅に地元ガイドがご案内  
 宇治茶を知るともっと宇治が楽しくなりますよ♪

時間 午前10:00～ ※実施は土日のみとなります

歩程 約3キロメートル 所要時間 約2時間～2時間30分

コース JR宇治駅→宇治橋通り(茶農家、茶師屋敷、茶商建物)  
 →宇治橋→茶園→世界遺産 宇治上神社→世界遺産 平等院

※コースは日によって少しの変動があります。詳しくはお問い合わせください

ツアー詳細

項目	評価対象年度	令和6年度
宇治川の鵜飼・放ち鵜飼の助成		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 平安貴族の宇治川見物のひとつであった宇治川の鵜飼は、鎌倉時代に禁止されたのち、大正の終わりに復活し、以降宇治川の夏の風物詩として定着している。多くの来訪者を楽しませる鵜飼を継承する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

R5年度は50日間の営業で2,120人の乗船があった。令和6年度は53日間の営業で2,503人の乗船があった。

【定量的評価】

鵜飼船乗船者数 2,503

《うみうのウツティー 孵化・成長》

平成26年…1羽 平成27年…2羽 平成28年…2羽 平成29年…4羽 平成30年…0羽  
 令和元年…2羽 令和2年度…0羽 令和3年度…0羽 令和4年度…1羽 令和5年度…0羽 令和6年度…0羽

放ち鵜飼について、令和3年度にモニターツアーを実施し、令和4年度に「放ち鵜飼&宇治の魅力体験ツアー」として新たな観光コンテンツとして本格的に実施した。

○令和6年度 春133人 秋106人

春 5月23日(木)11名、5月30日(木)5名、6月1日(土)14名、6月2日(日)14名、6月6日(月)11名、6月9日(日)17名、6月13日(木)15名、6月15日(土)26名、6月22日(土)20名

秋 10月5日(土)36名、10月13日(日)28名、11月2日(土)10名、11月9日(土)11名、11月16日(土)21名

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

今後のさらなる集客に向けて、春と秋に放ち鵜飼を実施する。

状況を示す写真や資料等



■鵜飼の様子

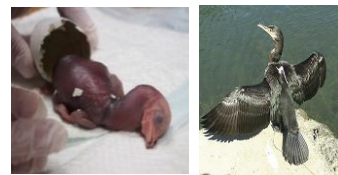


■放ち鵜飼の様子

年度	営業日		期間日数	休業日数	営業日数	乗船人数	1日平均(人)
平成26年度	6月15日	～ 9月23日	99	23	76	6,970	91
平成27年度	6月14日	～ 9月23日	102	40	62	7,060	114
平成28年度	7月1日	～ 9月30日	92	13	79	6,920	88
平成29年度	7月1日	～ 9月30日	92	17	75	6,390	86
平成30年度	7月1日	～ 9月30日	92	43	49	4,325	89
令和元年度	7月1日	～ 9月30日	92	53	39	2,635	68
令和2年度	中止						
令和3年度	7月1日	～ 9月30日	92	73	19	420	22
令和4年度	7月1日	～ 9月30日	92	60	32	1,210	37
令和5年度	7月1日	～ 9月30日	92	42	50	2,120	42
令和6年度	7月1日	～ 9月30日	92	39	53	2,503	47

■うみうのウツティー

平成26年6月29日、宇治川の鵜飼で飼育されているウミウに初めてのヒナが誕生した。ウミウは警戒心が強いいため、飼育されているウミウの産卵及びふ化は日本で初めてのことである。このヒナはウツティーと名付けられ、鵜飼デビューを果たし活躍している。現在までに誕生したウツティーは12羽。



■人工ふ化で飼育されているウミウ

評価軸④-10  
文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度 現在の状況
宇治十帖スタンプラリーの開催		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 近世から親しまれる宇治の遊覧の1つ『源氏物語』宇治十帖めぐりを定期的に設けることにより、多くの人に宇治川河畔の歴史的風致に触れる機会が創出される

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

毎年、晩秋の宇治の風情を楽しみながら『源氏物語』宇治十帖ゆかりの地などを巡るスタンプラリーを開催している。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止となった。  
 また、令和3年度からは新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、スマートフォンを利用するデジタル方式で実施し、開催期間を2ヶ月間とした。  
 令和6年度は、大河ドラマ「光る君へ」の放送を契機に「紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクト」の取り組みの一つとして実施。また、声優梶裕貴氏の音声ガイドを導入。  
 【定量的評価:参加者 7,113人(開催期間61日)】

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

観光客数は、コロナ前に戻りつつあるが参加者数の伸び悩みが課題となっている。引き続き、幅広い世代で参加いただけるように広報活動を努めていく。

状況を示す写真や資料等

■デジタルスタンプラリーのチラシ(R6)



■宇治十帖スタンプラリー参加者

	開催日数(日)	参加者数(人)
平成25年度	5	16,598
平成26年度	5	17,176
平成27年度	5	17,744
平成28年度	5	17,503
平成29年度	5(内1日中止)	12,674
平成30年度	4	13,146
令和元年度	4	12,008
令和2年度	中止	-
令和3年度	61	5,586
令和4年度	61	5,480
令和5年度	61	7,973
令和6年度	61	7,113

項目	評価対象年度	令和6年度 現在の状況
----	--------	----------------

社寺等の歴史資源との連携

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容

宇治川沿いの社寺や商店街とともに文化財を活用したイベントの実施により観光の滞在時間を延ばすことで市の歴史・文化遺産観光の振興を図ることができ、また多くの人々が宇治の歴史的風致に触れる機会を創出する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

宇治オリジナルの夜の演出により、宇治の観光の振興と活性化を図ることを目的として進めてきた「～京都花灯路連携事業～京都・宇治灯り絵巻」の発展のため、“一年に一度、願い事をする”という古くから伝わる七夕の節句の意義や云われを見つめ直し、その伝統を引き継ぎつつ、伝統産業や、和装の振興などの観点も含めた京都ならではの現代版・七夕まつりとして京都各地で開催されている「京の七夕」との融合を図り「京の七夕inUji」構想を推進することにより、さらなる宇治の観光の振興と活性化を図る。

進捗状況 ※計画年次との対応

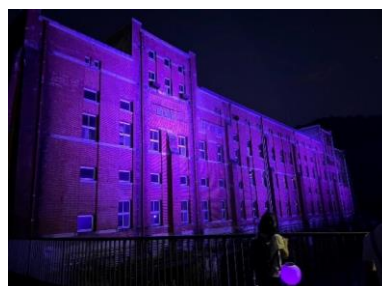
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

次年度以降も継続し、イベント等に合わせた灯りの演出と、京都府と連携した「京の七夕」連携周遊事業にも引き続き取り組む。

状況を示す写真や資料等

- 令和6年
- 8月2日(金)～8月4日(日)3日間 15,000人 関連イベント10,000人
- ライトアップ: 京都府立宇治公園、関西電力宇治発電所、天ヶ瀬ダム、お茶と宇治のまち歴史公園
- 願いがかなう道(短冊を吊るす笹ロードの設置)
- 関西電力宇治発電所プレミアムツアー
- 天ヶ瀬ダム特別見学ツアー
- 七夕夜市
- 茶づなde水占い/天の川イルミネーション
- 七色カードラリー
- 光の演出提灯貸出(NAKEDディスタンス提灯)
- 「#宇治の七夕2024」投稿キャンペーン
- 関連事業
- ・宇治橋通り商店街クラフトビール夜市
- ・集まれ子どもたち！楽しく学ぼう七夕まつり
- ・夏休み自由研究プロジェクト



評価軸④-12  
文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度 現在の状況
歴史文化への愛着の醸成		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 宇治市の歴史文化に関する郷土教育や人材育成を進めることは、地域の伝統文化や未指定文化財等の継承につながる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○「宇治学」(総合的な学習の時間)での探究的・協働的学習をより効果的に実施するため、「宇治学」副読本・指導の手引きを作成配付  
 ○「宇治学」副読本(小学校第3学年・中学校第2学年)を改訂にあわせてデジタル化。令和7年度より市内小中学校でタブレット端末で活用。また、令和5年度に改訂された小学校第6学年及び中学校第1学年については、デジタル化されたものを令和6年度よりタブレット端末機器にて使用している。  
 ○小学校3年生から副読本を活用して学習を進め、小学校第6学年では「ふるさと宇治の魅力発信」をテーマに市内観光名所や施設等を見学し、ポスター作成やプレゼンテーションなどを行っている。また、小学校から積み上げてきた「宇治学」の集大成として、中学第3学年では「ふるさと宇治」をより良くすることをテーマに、企画提案書づくりやプレゼンテーションなどを行い、これらの体験活動をとおして、ふるさとに対する関心を高め、本市への愛着心を醸成している。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



令和7年3月6日「宇治学」(総合的な学習の時間)の一貫として取り組んできた「萬福寺学」で、萬福寺の魅力を地域住民や観光客に発信(イベント「宇治小版 萬福寺ええとこ祭り」)



令和6年4月より、デジタル化された第2改訂版副読本(小学校6年・中学校1年)を使用

項目	評価対象年度	令和6年度 現在の状況
歴史・文化啓発		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 発掘調査の成果について、報告書の発行や現地説明会の開催、フォーラムなどでの発表を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

パンフレット「発掘宇治 '24」の印刷、配布を行った。  
 また、紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクトの一環として、ARにより平安時代の宇治のまちを再現する「中宇治地域をまち歩き！平安時代の宇治さんぽ」、宇治市内で出土した遺物のミニチュアをつくる「鏡のミニチュア製作体験」と「瓦のミニチュア製作体験」及び市内のお寺が所蔵する平安時代に作られた非公開の仏像を公開する「平安の息吹を感じる 秋の特別公開」を実施した。

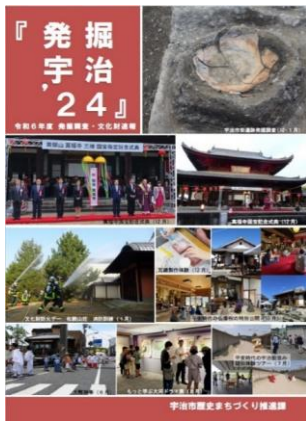
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

引き続き、発掘調査成果の公開に努める。

状況を示す写真や資料等



パンフレット「発掘宇治 '24」

中宇治地域をまち歩き！平安時代の宇治さんぽ 参加者数

7月13日	午前の部	10名
	午後の部	5名
7月14日	午前の部	6名
	午後の部	4名



令和6年 平安の息吹を感じる 秋の特別公開

	10月5日	10月6日	合計
	拝観者数	拝観者数	拝観者数
安養寺	111	95	206
放生院	210	150	360
恵心院	202	173	375
合計	523	418	941
	10月12日	10月13日	合計
西導寺	234	119	353
蔵林寺	181	—	181
合計	415	119	534

鏡・瓦のミニチュア製作体験 参加者数

鏡のミニチュア製作体験	12月14日	8組
瓦のミニチュア製作体験	12月15日	1組



項目	評価対象年度	令和6年度 現在の状況
文化財見学会		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 小中学生を対象とした文化財の普及・啓発活動は、郷土の歴史と身近な文化財への理解を促すとともに、ふるさと宇治に愛着と誇りを持ち、地域の伝統文化の継承への意識を高めることにもつながるため、次世代へと引き継ぐべき歴史的風致の維持向上に寄与するものである。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・小中学生を対象とした鏡のミニチュア製作体験と瓦のミニチュア製作体験を実施した(再掲)。
- ・小中学生の文化財見学会は、参加希望者が集まらなかったため中止した。コロナ禍の間(4年間)、中断していたことにより、参加者が途切れてしまったことが考えられる。
- ・明日の京都文化遺産プラットフォームが開催した京都府・大津市の小学生を対象とした「京都の文化財を描こうコンクール」に共催した。(応募総数203点)
- ・萬福寺の国宝指定を記念して「黄檗山萬福寺国宝指定記念フォーラム」(3/29)を開催した。(入場者数110名)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

庵寺山については見学会を開催できるよう努める必要があるが、階段、手すり等の改修には相当の予算を要するため、部分的な改修を徐々に行っていく必要がある。文化財見学会については、広報の方法を改めて見直す必要がある。

状況を示す写真や資料等



黄檗山萬福寺国宝指定記念フォーラムの様子  
(令和7年3月29日開催)

項目	評価対象年度	令和6年度 現在の状況
文化財保存・修理・整備等への補助		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 文化財の維持、保存を行うことで、将来にわたって文化財の価値が継承され、また祭礼等の拠り所が守られることで人々の活動も次世代へつなげていくことができる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市内各所に所在する文化財調査を行い、本市にとって歴史上、芸術上価値の高いものを市指定文化財に指定し、伝えられてきた貴重な文化財の保護と活用を図る。併せて国・京都府指定及び未指定文化財の修理等に補助を行い、文化財保護を推進する。

松殿山荘の修礼講堂及び事務所の防災施設整備や、市指定文化財大幣神事など、13件の事業に対して補助を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

文化財の価値が継承されるよう修理等に対し支援に努める。

状況を示す写真や資料等



大幣神事 実施状況



萬福寺 回廊柱割れ補強

項目	評価対象年度	令和6年度
----	--------	-------

未指定文化財等の調査		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
------------	--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------

計画に記載している内容 未指定文化財を調査することにより、文化財としての価値づけを行い、適切な方法で保護していくことや、宇治市にはまだ知られていない歴史的資源が豊富にあることの認知を高める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○宇治市街遺跡(川西地区)で発掘調査を行った結果、貴族の別業で使用されていたと思われる大規模な井戸が見つかり、今まで平安時代の遺構が希薄と考えられていた市街地の南西部まで別業が存在する可能性が考えられ、平安時代の別業都市宇治の広がりが広大なものであったと考えられる。

○未指定文化財の補修等への補助 R6:2件(参考R5:0件)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	未指定文化財把握のための調査が必要である。
------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------

状況を示す写真や資料等



宇治市街遺跡(川西地区)発掘現場

評価軸④-17  
文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度 現在の状況
無形民俗文化財等の記録調査		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 宇治に古くから伝わる大幣神事等の無形民俗文化財の毎年の様子を詳細に調査し、その変遷をたどれるように記録する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

大幣神事は、中宇治に集まる疫神をまちの外に追い出すものであり、神事の概略は神の憑代である「大幣」と呼ばれる大きな御幣を古式ゆかしい行列とともに三角形街区を巡行させて疫神を集め、宇治川に流して祓うものである。大幣と騎馬神人、七度半の使いの3つがそろふことが特徴である。

令和6年6月8日(土)実施

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

文化財価値が損なわれないよう注意を払う必要がある。

状況を示す写真や資料等



項目	評価対象年度	令和6年度 現在の状況
文化財の保存・活用の検討		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 宇治市文化財の具体的な保存・活用の方針を決定することによって、より適切な保存が図られ、また歴史的資源として活用されていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年10月に国の史跡指定を受けた宇治古墳群の一つである二子山古墳を保存し、古墳の立地する景観の保全を図るとともに、同じく同月に国の名勝指定を受けた二子山を含む宇治山の保存及び活用を図る。

令和6年度も令和5年度に引き続き、名勝宇治山の保存活用計画の策定に取り組み、策定に至った。

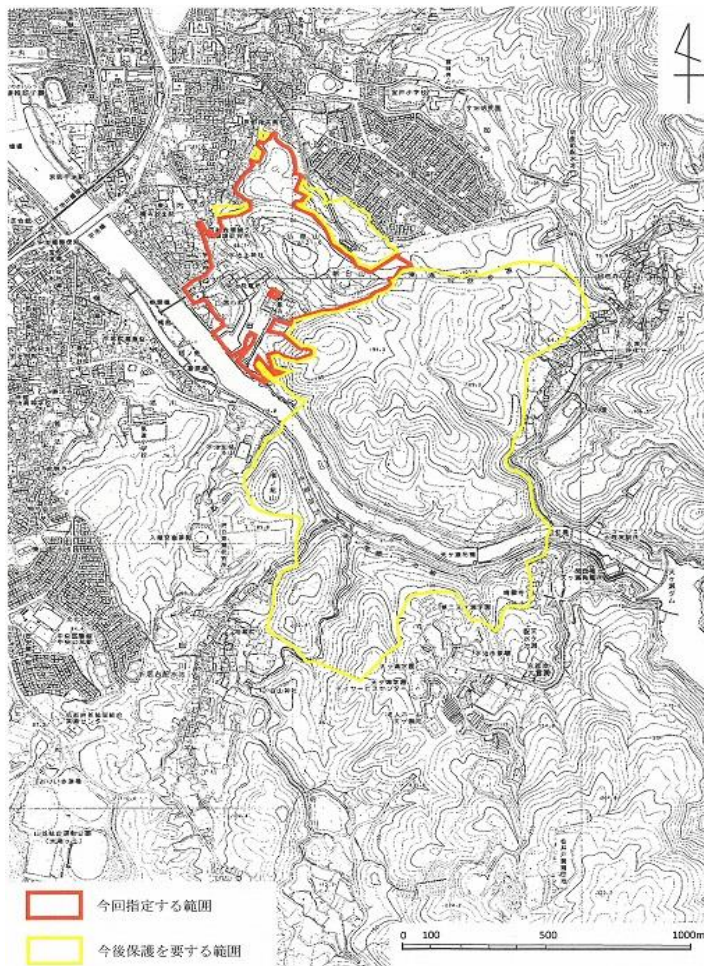
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

文化財が適切な保存が図られ、歴史的資源として活用されるようにそれぞれの方針を定めるよう努める。

状況を示す写真や資料等



宇治山 名勝指定対象地域範囲図

評価軸④-19

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度 現在の状況
天ヶ瀬ダム周辺のかわまちづくり		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 古くから宇治川河畔の自然景観は、周辺住民のみならず、遠方からの来訪者の目も楽しませてきた。現代においても天ヶ瀬ダムに至る川沿いの道を散策する人が見られる。この優れた自然景観と市街地との周遊性を高めるため、天ヶ瀬ダムにおけるインフラツーリズムや水辺のにぎわいづくりを実施し、更なる人々の来訪を促す。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

天ヶ瀬ダム周辺の観光資源を活かした広域的な周遊観光の活性化を図るため、取組を実施

○宇治市天ヶ瀬ダムかわまちづくり計画

天ヶ瀬ダムを観光資源として有効に活用し、天ヶ瀬ダム周辺の周遊観光を推進するため、平成31年3月に国土交通省のかわまちづくり支援制度の登録を受けた。その後、「お茶と宇治のまち歴史公園」の開園、淀川沿川自治体による舟運活性化の機運向上を受け、更なるにぎわいづくりを推進するため計画を見直し、令和5年8月に計画の変更登録を受けた。

○旧ガーデンズ天ヶ瀬跡地整備検討

宇治市天ヶ瀬ダムかわまちづくり計画に基づき、ダムや宇治川を知り・親しむ場を提供するため、観光シーズンやダム体感ツアー参加者を受け入れる休憩施設・駐車場の他、ダム周辺を望む展望スポットの詳細設計を実施した。

○宇治川・天ヶ瀬ダム活性化協議会

宇治市天ヶ瀬ダムかわまちづくり計画に基づき、天ヶ瀬ダム周辺の観光資源を活かした広域的な周遊観光の活性化を図るため、関係団体、民間企業、行政機関等で構成する協議会を設立し、協議会を開催した。

- ・令和6年11月20日 旧ガーデンズ天ヶ瀬跡地、茶づなの護岸の整備についてワーキンググループの設置について

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



※今後、工事実施のための詳細な設計等を実施することにより、実施内容を変更する場合があります。

項目	評価対象年度	令和6年度 現在の状況
空き町家の活用の検討		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

伝統的木造家屋を保存・継承するため、民間事業者等とも連携しながら、空き町家の活用を検討する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和2年度も、平成28年度、令和元年度同様に実施した「中宇治地区に残る伝統的木造家屋の空き家調査」の再調査を行い、近年の町家の空き家及び滅失の状況を調べた。また、30年度末に策定した「宇治市空き家等対策計画」に基づき、空き家の利活用施策として実施している「空き家の再生・利活用コンペ」の募集を令和2年1月15日から令和2年6月15日まで行った。  
無料相談や空き家等に関する出前講座の募集も呼び掛けている。

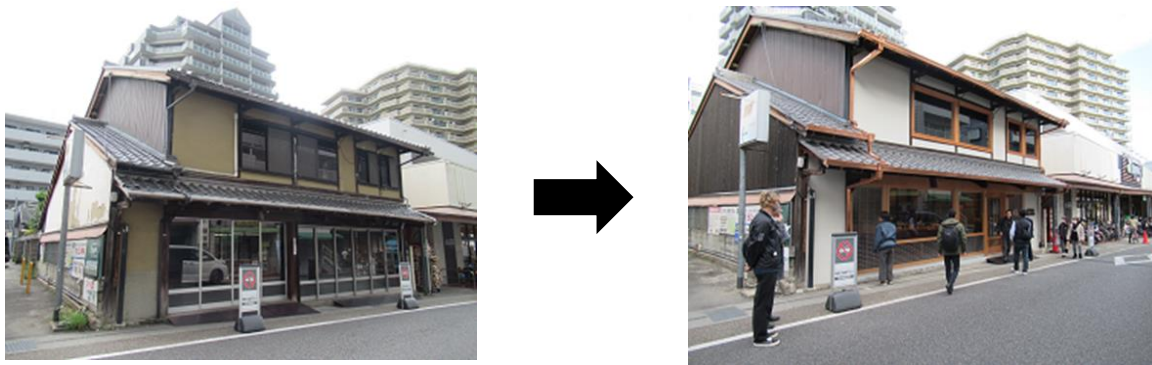
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

平成30年度末に策定した宇治市空き家等対策計画に基づき、今後、空き家の所有者等が適正に管理できるよう各種の支援施策を実施する。令和6年度より景観形成助成では空き家の利活用に資する場合の助成の拡充を実施している。

状況を示す写真や資料等



令和6年度空き家利活用実績



評価対象年度 令和6年度

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
息が合う 鵜匠&ウツティー 放ち鵜飼茶づなで見学を	令和6年6月5日	洛タイ新報

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等




木さん・江崎洋子さん・鈴木奈緒美さんの3鵜匠、舟上から後進を見守る松坂善勝鵜匠らが繰り広げる「放ち鵜飼」の姿をのんだ。

水の中に颯爽と飛び立つウツティーの姿を見届けた佐々木裕太さん(32)は「京都市山科区」と、交際中で大学留学するミヤンマー出身のメイさん(28)も目の前のパフォーマンス

声に合わせて喉元から魚を吐き出す

## 息が合う 鵜匠&ウツティー 放ち鵜飼 茶づなで見学を

江崎洋子鵜匠の手に乗るウツティーが大きく羽を広げギャラリーにアピール



全国で他にない鵜匠と鵜をつなぐ「放ち鵜飼」の見学会は2日、茶づな(お茶と宇治のまち歴史公園)で「菟道丸山」で行われ、14人の参加者が阿吽(あうん)の呼吸に胸躍らせた。2022年11月、同会場で始められた「鵜匠講演と放ち鵜飼見学」セット企画。14年、国内外で初という飼いなされた環境下のウミウのペアによる産卵が始まる。沢木万理子鵜匠はじめスタッフが力を尽くし人工ふ化に至るヒナスに見惚れた。「綱でつながれていないのに逃げていかないうちにおもしろい」7月に通常の鵜飼も見に来たい」と初の鵜飼に声を弾ませた。

**15・22日分を受付中**

宇治「放ち鵜飼」鵜匠講演と放ち鵜飼見学は今後、9日(日)・15日(土)・22日(土)の3日間。このうち、15・22日分は申し込みを受け付けている。午前10時30分に茶づなに集合し、同45分

希望者は宇治市観光協会ホームページの専用フォームから、あるいはメール [info@kankou.or.jp](mailto:info@kankou.or.jp)、[info@kankou.or.jp](mailto:info@kankou.or.jp)、同協会電話0774-23-3353(午前9時~午後5時)まで電話で申し込むこと。締め切りは各開催の6日前。

「ウツティー」たちは「ウツティー」と命名され、国内では01年まで鳥根県益田市高津川で行われたあと途絶する「放ち鵜飼」の本格表現を目指す。親代わりの沢木さんら鵜匠はじめ、フィジカル・メンタルとも生後、密着・世話してもらったウツティーのチャレンジャー。今月に4回を予定する初日は、1926(大正15)年に復活した「宇治川の鵜飼」とウツティーの軌跡をたどる講演でスタート。このあと参加者たちは池まで足を運び、沢

宇治のまち厄祓いで疾走 県神社の大幣神事

令和6年6月9日

洛タイ新報

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

## 宇治のまち厄祓いで疾走

県神社の大幣神事 中世から伝わる清めの儀式

県祭(あがたまつり)のあとに執り行われ、宇治のまちの平穩を願う清めの儀式「大幣(たいへい)神事」が8日、中宇治地域一帯であった。地元住民のほか観光客も多く訪れ、厄祓いと無病息災を祈った。

厄病退散と豊作を祈願する道饗祭(みちあえのまつり)として伝わる神事。県祭が庶民的な性格を帯びているのに対し、大幣神事は貴族的あるいは民族的な傾向が強い祭礼で、古式の持ち物や馬馳(はせ)行事などは中世期の形式がほぼそのまま残されている。2012年3月、市の無形文化財

第1号に指定された。この日の午前10時、県神社境内の大幣殿で執り行われた祭事では、奥村隆司宮司による祝詞奏上の後、関係者たちが玉串を奉納した。大幣座の座頭を務めた入江宗輔さんが挨拶に立ち、支援者らへ感謝の意を示しながら、事故なく安全な進行為呼び掛けた。

のぼり旗を先導に、お供衆や騎馬神人が宇治神社御旅所前へ向かった。馬馳の儀では、大勢の市民が見守る中、坂までの府道を人馬が4往復し、沿道から拍手が送られた。

本町通りを経



参加者に供物が振る舞われた

評価対象年度

令和6年度

報道等タイトル

年月日

掲載紙等

宇治市が碾茶で産地賞

令和6年8月31日

洛タイ新報

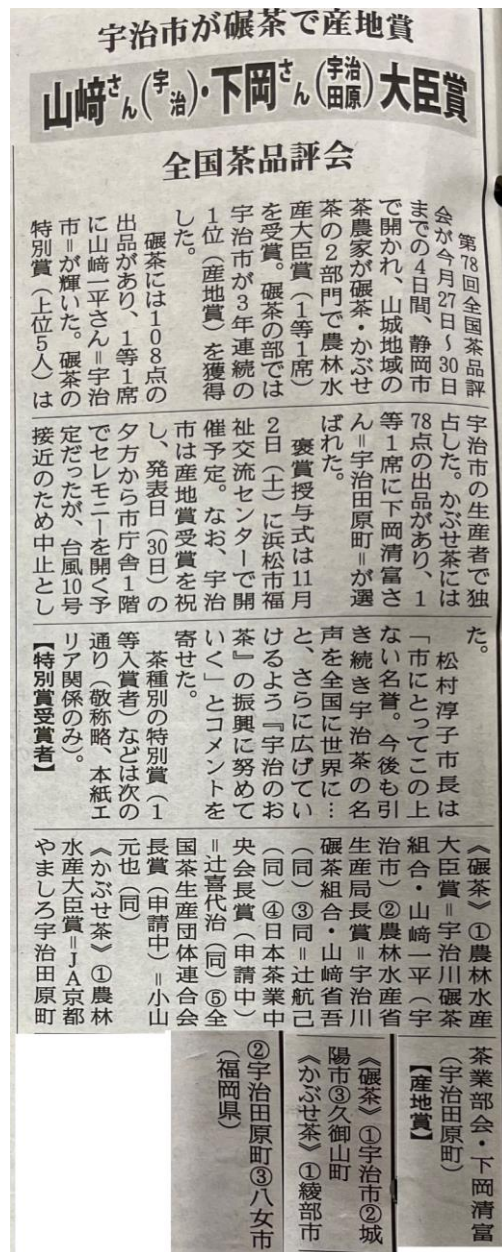
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



登録無形文化財に手もみ製茶

令和6年10月19日

洛タイ新報

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

登録無形文化財  
に手揉み製茶

文化審は「手揉み製茶」の技術を、登録無形文化財に登録することについても文科大臣に答申した。

茶種の1つである煎茶、かぶせ茶又は玉露を手作業で作り上げる伝統的な技。手もみ製茶技術保存会(中森慰)

会長、静岡県)を保持り、府内でも3人が会  
団体として認定してお  
員登録している。



製茶中の風景(府発表資料より)

評価対象年度

令和5年度

報道等タイトル

年月日

掲載紙等

萬福寺3棟、国宝に格上げ

令和6年10月19日

洛タイ新報

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

**萬福寺3棟、国宝に格上げ**

文化審  
答申 大雄宝殿、法堂、天王殿

国の文化審議会(島谷弘幸会長)は18日、宇治市五ヶ庄の萬福寺にある大雄宝殿(だいろうほうでん)、法堂(はつとつ)、天王殿(てんのうでん)の3棟を国宝(建造物)に指定することを文部科学大臣に答申した。

萬福寺は、17世紀半ばに中国より伝来した黄檗宗の大本山で、中国の高僧・隱元隆琦が4代將軍・徳川家綱を大檀越として創建。3棟は寛文年間(1661〜73)の建築で、中国の福州にある黄檗山萬福寺に倣って整えられた壮大な伽藍の中心的な堂宇となつてい

答申では「3棟は、我が国在来の寺院建築手法に、中国由来の意匠や形式を融合した独特の様式を代表するもので、近世の外来様式の摂取と受容のあり方を示し貴重。異国情調漂つ伽藍は、建築のみならず芸術や生活文化など全国に伝播・浸透した新たな黄檗文化を象徴する」と評価した。

建造物の国宝は市内で1897(明治30)年の平等院、1902(明治35)年の宇治上神社の本殿、拜殿に次いで、122年ぶり4

件目となる。萬福寺はホームページで「主要伽藍はすでに国の重要文化財に指定されており、その数は23棟。創建以来の先達方が諸堂の維持管理を継続してくださった賜物であり、また、その維持修復に尽力してくださった技師や関係者の皆様に深く敬意を表したい。国に認められた建物として、今後も維持管理に万全を期し、後世に引き継いでいく責務を改めて痛感しております」とのコメントを掲載した。

評価対象年度 令和5年度

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
宇治市源氏物語ミュージアム 昨年23万1100人、入館最多	令和7年2月5日	洛タイ新報

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

**宇治市源氏物語ミュージアム  
昨年23万1100人、入館最多**

「大河」終了後も勢い続く

源氏物語の作者・紫式部の生涯を描いた大河ドラマ「光る君へ」(NHK)の放送もあり、かねてより源氏物語のまちづくりを展開してきた宇治市には昨年、多くの源氏ファンが訪れた。市源氏物語ミュージアム(家塚智子館長)の入館者は約23万1100人となり、過去最高を記録。放送終了後の先月も前年同月比で約2割増となり、勢いを維持している。

1000年以上前に、市は1989年「した文学賞などを創設書かれた長編小説・源氏の国の「かぐや姫」を創生事業」を活用し、作まちづくりを進めてきた。後10帖の舞台が宇治の者・紫式部の名前を冠した。

昨年、紫式部の生涯を描く大河ドラマ「光る君へ」が放送される中、市は官民一緒になって「紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクト」を展開。市民にふるさとの魅力を伝えるとともに、観光客の誘致につなげた。これらの効果もあつ

て源氏物語ミュージアムには観光客が押し寄せ、昨年は約23万1100人が来館し、目標の16万人を達成。これまで最多だった源氏物語千年紀の2008年の約20万7000人を上回る活況となった。千年紀の時は、イベントが本番だった11月に4万人以上が来館したが、昨年の特徴は、年間を通じて来館者が絶えなかったこと。月間2万人超えは、1998年10月のオープン以来、23年12月までに7回しかなかったが、昨年は5回(3、5、6、10、11月)も記録した。

家塚館長は「大河ドラマが起爆剤になったことは間違いないが、30年以上続けてきた源氏物語のまちづくりの土壌があつてこそ」と分析。「光る君へ」は昨年12月15日に最終回を迎え、今年には来館者の大幅減が予測されていたが、先月は前年同月比で約2割増となり、勢いを維持している。

評価対象年度	令和6年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 宇治市歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時: 令和7年5月28日(水)	
<p>(コメントの概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インバウンドの観光客が抹茶を大量に買っていくため、農水省が碾茶の生産を推奨している。宇治で作られているものがどのような価値を持っていけるか、情報発信の仕方を工夫し、歴まち計画の各事業で連携していく必要がある。</li> <li>・宇治市の歴まち計画には3つの柱(歴史的風致)があるが、それぞれの柱の施策ができていのかどうか評価できるようにしてほしい。</li> <li>・宇治の特性を益々出さなければいけない時が来ている。そのためには抹茶をもっと広く理解してもらわないといけないのではないか。茶に関する事業本数は充足していると思うが、各事業間の連携が大事。</li> <li>・組織の横での連携は難しいが、それを可能にするのが歴まち計画だと思う。</li> <li>・進捗評価にインバウンドの影響がどの程度あったのか記載されていない。インバウンドの影響を進捗評価に反映してもらいたい。</li> <li>・源氏物語ミュージアムが過去最高の入館者数を記録した。大河ドラマの影響もあると思うが、職員がミュージアムの枠にとらわれず外に出て講座やセミナーを行ったのが大きい。今後も過去最高を更新できるように努めてほしい。</li> <li>・源氏物語ミュージアムも開館当初は入場者数が増えないといわれていた。歴史公園についても頑張ってもらいたい。</li> <li>・お茶の生産量は、今や鹿児島に抜かれている状態だが、宇治の茶は品質が高く歴史と結びついている。紹介が必要。</li> <li>・第1期計画ではハード事業が主だったが、第2期計画はソフト事業をいかに展開させていくかが課題。また、後継者育成の問題もある。</li> <li>・インバウンドについてだが、京都市で起きている問題が何年か後に宇治市におりてくる感がある。</li> <li>・インバウンドで抹茶を買ってくれるが、抹茶の持つ歴史や背景とかはわかってもらえていない。どのように発信していくかが問題。</li> <li>・昨年大河ドラマでは直接宇治が舞台として出てきたわけではないが、様々な事業を行うことで大河ドラマとタイアップしながら広がりを持って平安時代を演出できていたと思う。</li> <li>・歴まち計画は分野を横断している大きな計画である。進捗評価では個々の事業の進捗ばかりに視点が行きがちではあるが、大きく見てどう進捗しているかを話してほしい。ルーティン化しないようにしてほしい。</li> </ul>	
<p>(今後の対応方針)</p> <p>宇治のアイデンティティであるお茶の歴史や魅力をより強く発信していく必要がある。そのためには、歴まち計画の事業の横の連携が必要であるし、やはり情報発信の仕方の工夫が必要なところである。</p> <p>また、歴史文化の後継者の育成については、方策を検討していく必要がある。</p>	